

都市再生整備計画

いわむらちく
岩村地区

第5回変更

ぎふけん えなし
岐阜県 恵那市

平成25年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	えなし 恵那市	地区名	いわむらち く 岩村地区	面積	930 ha
計画期間	平成20年度～平成24年度	交付期間	平成20年度～平成24年度				

目標

大目標:「何度でも訪ねたい町 いつまでも暮らしたい町」
目標1:歩いて楽しめる、何度来ても楽しめる、便利に生活できる賑わいのある城下町づくり
目標2:農村風景やホテルの里などの自然景観・自然環境を「守り・育て・生かす」まちづくり
目標3:みんなで助け合い、支えあうふれあいとてなしの心が通うまちづくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況
恵那市岩村町は鎌倉時代に岩村城が創築され、明治初年には巖邑県となり、さらに岐阜県に編入されました。昭和29年岩村町と本郷村が合併し現在人口5,500人で、早期の上下水道整備の完成に伴う生活環境の充実により、近年人口の減少に歯止めがかかってきています。また、約800余年の長い歴史を秘めた町で、三万石の城下町として今も城山に本丸をはじめとする石塁を残し、往時の面影をとどめ偉人も多く輩出しています。城下町には国が重要伝統的建造物群保存地区に選定し、歴史の町並みや旧跡も保存され、情緒あふれる史跡観光の町として、また、それに対して農村景観日本一の田園風景など町を取り巻く里山の自然と歴史に裏づけされた本物の文化のまちとして、注目されている町です。
そして、町の中央部を南北に国道257号、東西に国道363号と明知鉄道が走り、この地域の交通の要をなしています。
地域資源としては、春の大名桜。夏は新緑の城跡。秋はみのりの農村風景。冬は雪の太鼓櫓。岩村には四季それぞれに色があり、その自然豊かな農村地区の景観を含む豊富な資産・資源があります。日本三大山城の一つであり、800余年の歴史を秘めた岩村城跡や国が重要伝統的建造物群保存地区に選定した伝統的町並みをはじめとする歴史的遺産があり、東濃地区でも代表される温故知新を感じる城下町です。
また、岩村が生んだ3人の偉人として日本の孔子とも云われる幕末の大儒学者佐藤一斎、実践女子学園創設者であり日本の女子教育の先駆者である下田歌子女史、世界的な植物学者で桜と花菖蒲の権威三好学博士がいます。現在もその精神を引き継いでいる教育の町でもあります。
そして、名古屋圏から近い田舎という位置で、飯羽間地区のホテルの里や農村景観日本一の富田地区を持ち、清流と砂地の田で取れるおいしいお米や野菜がおすすめの町です。
一方で、城下町地区での空家・空き店舗の増加による町の活力低下が大きな問題になっているほか、魅力ある地域資源の効果的な活用が十分に図られていない状況にあります。
観光サービス面でもサービス施設の整備不足などにより、十分でない状況にあり、地域の振興を総合的に図るための都市再生が求められています。

課題
①城下町地区における生活拠点再生と観光拠点の充実により、便利で賑わいのある中心地の実現。
②日本一の農村風景やホテルの里などの環境維持・向上。
③優良な地域資源のネットワーク化とまちづくり活動推進による地域振興の実現。

将来ビジョン(中長期)
新市総合計画における岩村地区の位置づけ
【恵那市全体からの位置づけ】
・合併市町村の地域特性を生かしながら、「人・地域・自然が調和した交流都市」を実現するために、岩村の有する地域資源の積極的活用による「緑と歴史・文化の高い温故知新のまち」づくりを展開する。
【岩村地区の整備構想】
・岩村城跡と古い町並み、富田地区の農村景観、飯羽間地区の縄文遺跡やホテルの里といった優良観光資源のネットワーク化による魅力の増大と地域活性化の実現

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
観光入込客数	人／年	岩村町城下町入込観光客数	観光資源・施設等の整備を図り、観光客数の減少(H17 71,232人→H18 67,506人)に歯止めを掛ける観光客数は現状人数程度で安定化を優先し、将来的には観光客数の増加を積極的に図っていく	67,506	18	67,506	24
空き店舗活用事業の活用件数	軒	空家・空き店舗の活用件数	地域活性化のために自ら営業する施設、地域活動のための施設への支援	0	19	3	24
地区内の居住満足度	%	まちづくりアンケートによる「住み続けたい」と答えた割合	「住み続けたい」と思う割合により、「何度でも訪ねたい町 いつまでも暮らしたい町」の達成度合いを評価する。	70	19	80	24

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1;歩いて楽しめる、何度来ても楽しめる、便利に生活できる賑わいのある城下町づくり ・重要伝統的建造物群保存地区に指定されている「岩村本通り」を中心とした町並み景観の向上を図る。 ・誰もが楽しく安心して歩くことができる歩行者支援施設の充実を図る。 ・何度来たくなる賑わいと安らぎを演出する広場や歴史的雰囲気 の整備と充実を図る。 ・歩行者優先のまちづくりを支える周辺道路や駐車場、コミュニティ施設等の整備・充実を図る。	・市道岩村町199号線【道路】 ・電線類地中化事業【高質空間形成施設】 ・まちなか道路修景事業【高質空間形成施設】 ・情報案内板設置事業【地域生活基盤施設】 ・バリアフリー公衆トイレ設置事業【高質空間形成施設】 ・西町ふれあい広場整備事業【地域生活基盤施設】 ・岩村駅前広場整備事業【地域生活基盤施設】 ・歴史資源活用検討調査【提案事業・事業活用調査】 ・上町まちなか交流館整備事業【既存建造物活用事業】 ・岩村藩鉄砲鍛冶加納家修復事業【既存建造物活用事業】 ・岩村城石垣復元事業【提案事業・地域創造支援事業】
整備方針2;農村風景やホテルの里などの自然景観・自然環境を「守り・育て・生かす」まちづくり ・恵まれた地域資源を積極的に活用し、地域振興に繋げていくための取組みの勉強会・検討会を開催し、順次まちづくり活動として実施していく。 ・自然、歴史、文化に関する貴重な地域資源を活用したウォーキングコースを設置し、岩村のまちへの愛着と、資源の保全意識の向上を図るとともに、里山・農村文化と城下町が一体となった、町の魅力増大と地域活性化を図る。	・ウォーキングコース設置事業【提案事業・まちづくり活動推進事業】
整備方針3;みんなで助け合い、支えあふれあいとてなしの心が通うまちづくり ・諸施設等の管理・運営方法および体制の確立を図るための取組みを実施する。 ・空き店舗の活用を積極的に実施し、岩村に伝わる技術や文化に触れたり、体験したり、伝えていくための取組みと運営を住民主体のもとに実施し、今後のまちづくり活動に生かしていく。 ・訪問者とふれあい、もてなすことで、城下町をアピールしていくための取組みを住民主体のもとに実施するための支援体制の整備を図る。	・空き店舗活用事業【提案事業・地域創造支援事業】 ・事業効果分析調査【提案事業・事業活用調査】 ・上町まちなか交流館整備事業【既存建造物活用事業】 ・西町ふれあい広場整備事業【地域生活基盤施設】

その他
①まちづくり事業に関する地元主体の取組みの継続 ・本地区のまちづくり計画は、地元住民等により構成されている「岩村町町並み活性化検討委員会」が主体となり検討・整理を実施しており、地域住民へのまちづくり計画(都市再生整備計画案)の説明・意見交換会も委員会の主催で開催している。 ・まちづくり交付金による事業実施期間中も「岩村町町並み活性化検討委員会」の活動を継続し、まちづくり事業の具体的な内容の検討や事業進捗の確認および事業の見直しの必要性検討などを地域主体で実施する体制をつくる。
②事業効果を高めるまちづくり活動等の計画的・段階的な展開 ・本事業の実施に合わせて、地域資源を活用し事業効果を高めるまちづくり活動等を地域住民主体で検討・実施する体制づくりを実施する。 ・また、活動結果に応じて、事業内容の見直しを柔軟に実施できるよう、前述の「岩村町町並み活性化検討委員会」との連携を図る。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費		765	交付限度額		326.3	国費率		0.427	(金額の単位は百万円)					
基幹事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
道路		市道岩村町199号線	恵那市	直	L=114m	24	24	24	24	8	8	8	0	8
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		—			—									
地域生活基盤施設(広場)		西町ふれあい広場	恵那市	直	A=241㎡	20	22	20	22	31	31	31	0	31
地域生活基盤施設(広場)		岩村駅前広場	恵那市	直	A=791㎡	24	24	24	24	16	16	16	0	16
地域生活基盤施設(情報板)		岩村総合情報案内板	恵那市	直	4基	24	24	24	24	3	3	3	0	3
地域生活基盤施設(情報板)		まちなか案内板	恵那市	直	15基	24	24	24	24	1	1	1	0	1
高質空間形成施設(緑化施設等)		まちなか道路修景事業	恵那市	直	L=1,399m	24	24	24	24	96	96	96	0	96
高質空間形成施設(電線類地下埋設施設)		市道本町新町線、本町殿町2号線、本町大路線	恵那市	直	L=1,234m	20	24	20	24	470	470	470	0	470
高質空間形成施設(歩行者支援施設等)		バリアフリー公衆トイレ	恵那市	直	2基	23	24	23	24	21	21	21	0	21
高次都市施設		—			—									
既存建造物活用事業(地域交流センター)		上町まちなか交流館	恵那市	直	—	22	22	22	22	36	36	36	0	36
既存建造物活用事業(既存構造物)		岩村藩鉄砲鍛冶加納家	恵那市	直	—	23	24	23	24	52	52	52	0	52
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										734	734	734	0	734
提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造	空き店舗活用事業	まちなか道路沿道修景区域	恵那市	間		20	20	20	20	2	2	2	0	2
支援事業	岩村城石垣復元事業		恵那市	直		23	31	23	24	127	2	2	0	2
事業活用調 査	歴史資源活用調査	—	恵那市	直	—	20	20	20	20	23	23	23	0	23
	事業効果分析調査	—	恵那市	直	—	24	24	24	24	1	1	1	0	1
まちづくり活 動推進事業	ウォーキングコース設置事業	—	恵那市	直	—	23	23	23	23	3	3	3	0	3
合計										156	31	31	0	31
													合計(A+B)	765
参考事業														
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費			
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度				
修理修景補助事業	恵那市岩村本通り伝統的建造物群保存地区	恵那市	文化庁	約14.6ha		○			10	—	—			
合計											0			

…A

…B

都市再生整備計画の区域

岩村地区(岐阜県恵那市)

面積

930 ha

区域

岩村・富田・飯羽間の一部

